

# チャペル週報

No.19

2015.10.19 ~ 10.23

わたしたちはあなたの民、あなたに養われる羊の群れ。  
とこしえに、あなたに感謝をささげ、  
代々に、あなたの栄誉を語り伝えます。

(詩編 79編 13節)



山川記念館

関西学院宗教センター

# 通勤の途上にて

住野公平

私の住んでいる門戸厄神方面から上ヶ原キャンパスまで毎朝通勤で歩いていると、道すがら色々な人達に出会います。お母さんと手をつないで登園する園児達、楽しそうに集団登校する小学生達、朝練で走ったり楽器を吹いたりしている中高校生、そしてもちろん大学生などなど。時折ルートや時間を変えてみると、静かになったり賑やかになったりと、上ヶ原の風景がさまざまに変わります。

職場に近づくにつれて高年次になっていく若い皆さんを見てみると、最近我が家に与えられた小さな娘も、ゆくゆくはこのお兄さんやお姉さん達のように大きくなっていくのかな、と思うようになりました。(今はありのまま自由に笑って泣いています…)

人にはその成長と共に、人生における様々な“役割”が与えられる、と感じています。大きな1枚のキャンパスに、赤・青・黄色など色とりどりの円がひとつひとつ並んでいくように、たとえば子供として、兄弟として、友として、夫・妻や親として、職業人として、あるいは重荷をもつコミュニティの担い手として等、天に召される時まで、カラフルな円が塗り加えられていくようなイメージです。

そのキャンパスの中心を貫く人生の目的、使命やミッションについて、先日ある文献から、創立者の W・R・ランバス先生がご自身の講演において次のようなことを話された、と知りました。「人生においてあまたの偉業を達成した人たちは、皆自らの人生の目標を設定したというよりはむしろ、高次の目標を与えられ、それにとらえられた人である。」

加速度的に変化する社会の中で、鍛錬・実践・貢献を必要とする日々こそ、何のために為すか、どこに向かっているかを神と自らに問いかけ、自身の土台や軸を確認する時間と作業が大切になる、と感じています。聖書の箴言にはこうあります。「力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。命の泉はこれから湧く。」

また、フィリピの信徒への手紙にはこのようにもあります。「わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」

そんなことを思い巡らしつつも、毎朝上ヶ原へ向かう長い坂道をのぼりながら、まずは息が上がらないように何とかせねば…と思う今日この頃です。

(グローバル化推進室職員)

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

10月19日(月) ランバスチャペルアワー「ゴスペルとハンドベルの共演」ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

神 ランバスチャペルアワーに合流  
経 舟木 謙(宗教主事)  
人 上ヶ原ハビタット  
聖和 聖書物語 五つのパンと二匹の魚  
理 KSC ハンドベル& アンサンブル

---

10月20日(火) 神 <留学報告> 佐藤 留緒記(神学部4年生)

文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 信じるということ④ 島村 恭 則(社会学部教授)  
法 気候の正義 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 舟木 謙(宗教主事)  
商 須永 努(商学部教授)  
国 音楽チャペル(2) 聖歌隊  
聖和 上ヶ原ハビタット  
理 前川 裕(宗教主事)  
総 宮崎 留衣(総合政策学部事務室職員)

---

10月21日(水) 神 田中 尚美(神学研究科M2)

法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle(Missionary)  
商 音楽チャペル 聖歌隊  
人 嶺重 淑(宗教主事)  
国 音楽チャペル(3) バロックアンサンブル  
聖和 田淵 結(教育学部宗教主事)  
理 前川 裕(宗教主事)  
総 村瀬 義史(宗教主事)

---

10月22日(木) 神 古澤 啓太(神戸東部教会)

文 Andreas Rusterholz(宗教主事)  
社 信じるということ⑤ 清水 裕士(社会学部准教授)  
法 上ヶ原ハビタット  
経 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."  
商 奉仕を考えるチャペル ハビタット  
国 English Chapel Jeffrey Mensendiek(Chaplain)  
聖和 校歌「空の翼」を歌おう 関西学院グリークラブ  
理 前川 裕(理工学部宗教主事)

---

10月23日(金) 院 嵯峨根 克人(法人部次長)

神 シリーズチャペル 私にとっての世界市民とは 加納 和寛(神学部助教)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz(Chaplain)  
経 上ヶ原ハビタット  
人 New Directions(アカベラカルテット)・広瀬 康夫(グリークラブ技術顧問)  
聖和 幼稚園実習を終えて 植村 美奏(保2) 木村 真子(保2)  
理 献血実行委員会

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)  
10月23日(金) 人間福祉学部のために 室田 保夫(人間福祉学部長)

---

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50~18:20 1405教室)

10月主題:「創立126周年をおぼえて」

10月22日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

10月29日(木) 田淵 結(宗教総主事)

●オルガン音楽の泉 2015 Fall Semester

パイプオルガンの響きに癒うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第6回 10月21日(水) 高橋 明子(日本聖公会川口基督教会オルガニスト長)

第7回 11月19日(木) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第8回 12月4日(金) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12時50分~13時20分(12時40分開場予定)

ところ: 関西学院中央講堂

問合せ: 宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月19日(月) 音楽チャペル「ゴスペルとハンドベルの共演」

11月16日(月) 聖歌隊&バロックアンサンブルによる音楽チャペル

ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)10:35~11:05

●夕べの祈りatランバス~テゼの音楽とともに~

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第5回 11月5日(木) 18:30~20:00

第6回 1月7日(木) 18:30~20:00

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

●第200回記念ランバス演奏会

「バッハ:ゴルトベルク変奏曲」全曲演奏会

1961年から開催しております「ランバス演奏会」が200回を迎えます。記念演奏会となる今回はバッハのスペシャリストによるチェンバロ演奏をお楽しみください。<入場無料>

演奏者: 高田 泰治(日本テレマン協会)

と き: 11月7日(土) 13:30開場 14:00開演

ところ: 関西学院ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催: 宗教センター

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。